

■ EPSON_Scan遅延解消.VBS / EPSON_Scan遅延解消.BAT に関する説明 ■

written by 藤田 聖二 (<http://www.alles.or.jp/~sfujita/>)

rev.0 2009-09-30

rev.1 2010-05-06

rev.2 for Win7 2011-03-02

Web公開 2012-05-09

■これは何？

TREND MICRO社製ウイルスバスター(コーポレートエディション含む)を導入したWindows XP/7に接続されたEPSON製スキャナを使用する際に、動作が激しく遅延するのを解消するためのスクリプトおよび、それを起動するバッチです。

この「遅延」は、EPSON スキャナのTWAINドライバ「Epson Scan」が動作中に随時作成するTWAIN.LOGを、TREND MICRO社製ウイルスバスター(コーポレートエディション含む)がリアルタイムスキャンすることで、プレビュー動作前後、本スキャン前後に無駄な待ち時間が発生する現象のことです。本ツールにより処理遅延の不具合が解消できます。

※本来なら、ウイルスバスターのリアルタイムスキャンの設定で、上記TWAIN.LOG をスキャン対象から除外すれば解決するのですが、コーポレートエディション(&セキュリティポリシー上)の都合上など様々な理由で、除外できない場合のための遅延防止策です。

■使い方の概要

EPSONのスキャナを使ってスキャン作業する前に、EPSON_Scan遅延解消.BATを一度ダブルクリックで起動するだけです。スキャン作業を終えるたびにEPSON_Scan遅延解消.BATを随時停止させても構いませんし、面倒ならそのまま起動させたままでも構いません(このVBSによるCPU負荷は0%に近いので、PC動作が重く感じることはありません)。随時停止させない場合は、PCをシャットダウンまたは再起動しない限り、スキャンのたびにダブルクリックで起動させる必要がありません。

上記ダブルクリックが面倒であるならば、EPSON_Scan遅延解消.BATをスタートメニューの[スタートアップ]に登録してしまっても構いません。

■やや細かい説明 (読まなくても構いません)

スクリプト単体をダブルクリックしても機能は果たしますが、標準ではWSCRIPTがホストとなって起動する関係で

- ・起動したことがわかり難い(これは起動時のダイアログをつけたので解消)
- ・途中で止めたくなくてもPCに詳しくないと安全に止められない
- ・起動状態にあるのか、既に停止させたのか分かり難い

という問題があります。

そのため、CSCRIPTをホスト指定したバッチによってVBSを起動させるという2段構えにしています。

■ファイルの設置方法（使用前に一度だけ行う作業）

EPSON製スキャナのつながっているPCには以下のようにファイルを設置して下さい。

a) Windows XPの場合

※同梱ファイルの「WinXP用」フォルダ内のファイルを使って下さい。

1: EPSON_Scan遅延解消.VBS を以下のパスに配置する

C:\Documents and Settings\All Users

つまり、

C:\Documents and Settings\All Users\EPSON_Scan遅延解消.VBS

とする。

2: EPSON_Scan遅延解消.BAT を（上記と同じ）以下のパスに配置する

C:\Documents and Settings\All Users

つまり、

C:\Documents and Settings\All Users\EPSON_Scan遅延解消.BAT

とする。

3: EPSON_Scan遅延解消.BATのアイコンで右クリックして[ショートカットの作成]により

ショートカットファイル「EPSON_Scan遅延解消.lnk」を作成する

（エクスプローラ上では通常 .lnk は表示されません）。

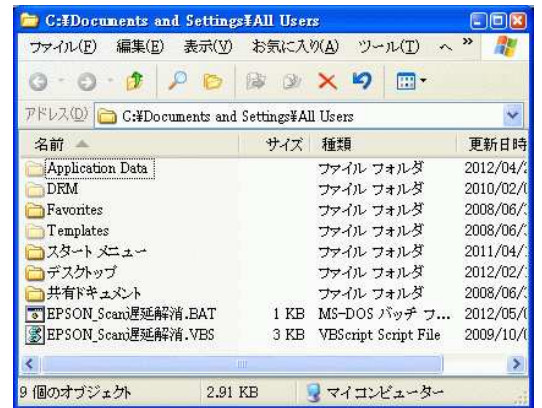
4: 上記#3で作成したEPSON_Scan遅延解消.BAT のショートカットファイルEPSON_Scan遅延解消.lnk を以下のパスに配置する

C:\Documents and Settings\All Users\デスクトップ

つまり、

C:\Documents and Settings\All Users\デスクトップ\EPSON_Scan遅延解消.lnk

とする。



b) Windows 7の場合

※同梱ファイルの「Win7用」フォルダ内のファイルを使って下さい。

1: EPSON_Scan遅延解消.VBS を以下のパスに配置する（注）Publicはパブリックと表示される。

C:\Users\Public

つまり、

C:\Users\Public\EPSON_Scan遅延解消.VBS

とする。

2: EPSON_Scan遅延解消.BAT を以下のパスに配置する（上記と同じ）

C:\Users\Public

つまり、

C:\Users\Public\EPSON_Scan遅延解消.BAT

とする。

3: EPSON_Scan遅延解消.BATのアイコンで右クリックして[ショートカットの作成]によりショートカットファイル「EPSON_Scan遅延解消.lnk」を作成する（エクスプローラ上では通常 .lnk は表示されません）。

4: 上記#3で作成したEPSON_Scan遅延解消.BAT のショートカットファイルEPSON_Scan遅延解消.lnk

を以下のパスに配置する

C:\Users\Public\デスクトップ

つまり、

C:\Users\Public\デスクトップ\EPSON_Scan遅延解消.lnk

とする。

c) Windows XP, Windows 7共通

a) または b) の設定により、誰のIDでログインしても、その人のデスクトップ上にEPSON_Scan遅延解消 ショートカットが表示されるようになり、それをクリックすることで、EPSON_Scan遅延解消.VBS を CSCRIPT 上で走らせられます。

※上記 a)または b) の#3の設定をせず、#2での～.BATを#4で指定する位置に配置しても目的は達せられます（実際rev.0時点ではそうしていましたが）、この場合コマンドプロンプトの標準のアイコンであるがゆえ、デスクトップ上ではギアのような絵、タスクバー上では[C:\]のような絵となり馴染みにくく、且つ識別し辛い状況になります。そのため、アイコンを容易に変更できるショートカットをデスクトップに表示する方式にしてあります。私の場合は([→]風な)黄緑色地に白抜き矢印アイコンで利用していました。これならば、デスクトップ上でもタスクバー上に縮小したときでも、明確に判別できるようになります。

デスクトップ上での比較



タスクバー上での比較例 (WinXPの例)



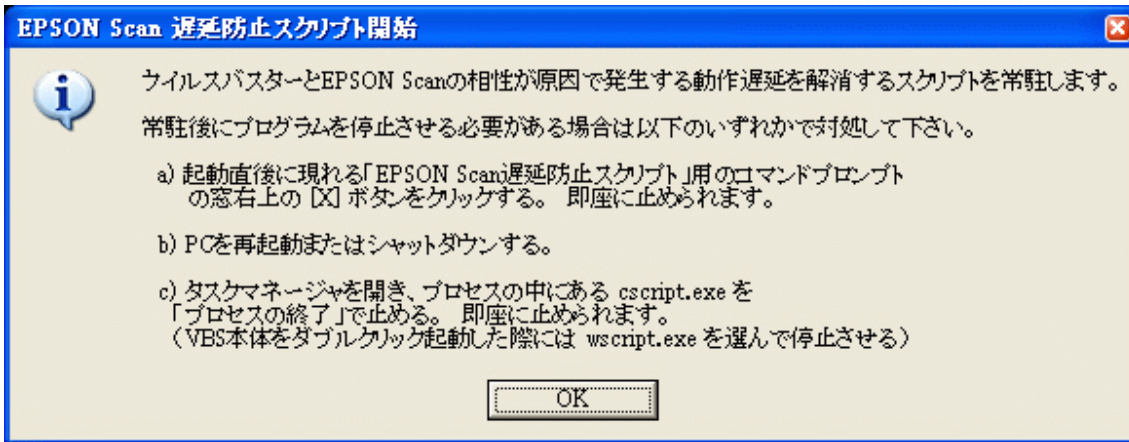
※アイコンは各自自由なものを使って下さって結構です。

※ちなみに「黄緑色地に白抜き矢印アイコン」は、%SystemRoot%\system32\SHELL32.dll にあります。ショートカットファイルのプロパティで[アイコンの設定]ボタンをクリックして、「このファイル内のアイコンを検索」欄に%SystemRoot%\system32\SHELL32.dll を入力するか[参照]ボタンで該当ファイルを選べば見つかります。



■ 起動方法・停止方法

1. デスクトップ上のショートカットファイルEPSON_Scan遅延解消 をダブルクリックして起動させます。すると以下のダイアログが表示されます。



2. [OK]をクリックすると、以下のコマンド プロンプト(cmd.exe)の画面が現れます。



3. コマンド プロンプトに表示されている通りに対処して下さい。
 - a) 停止させたい場合は右上の図ボタンをクリック
 - b) 実行中にコマンド プロンプト画面が邪魔ならば[_]ボタンをクリックして最小化
 - c) どうでもいい場合は放置

■ 備考

本スクリプトおよび、それを起動するバッチを使用した結果に対して、作者は一切の保障・補償を致しません。ご意見・ご希望は歓迎いたしますが、作者はそれら全てに対応する義務を持ちません。同様に、バグや仕様不足に対する修正の義務も持ちません。